

公開研究会

「高齢者・障がい者の暮らしと居場所を考える —被災地のサポート拠点の取組みから—」

CPD 申請中

東日本大震災から、まもなく3年が経とうとしている。被災地では、復興住宅の建築が急速に進む一方で、将来への不安を抱えたまま仮設住宅や地域での不便な生活を続けている高齢者・障がい者も多い。そしてそれらの人々の暮らしを支える拠点として、各地のサポートセンターが大きな役割を果たしている。今後、これらの拠点がどのような形で機能を継続させ、地域の包括ケア体制に繋がって行くのか、注視していく必要がある。そこで本研究会では、被災地におけるサポート拠点に着目し、その現状や課題を把握すると共に、高齢者・障がい者の暮らしを支え、居場所となる拠点作りについて議論を深める。

主催： 建築計画委員会 住宅計画運営委員会 高齢者・障がい者等居住小委員会

日時： 2月26日(水) 13:30～17:00

会場： 建築会館 3階階会議室

内容：

1. 主旨説明： 蓑輪裕子（聖徳大学短期大学部／小委員会主査）
2. サポート拠点の現状と課題について
 - 1) 建築の立場から： 富安亮輔（東京大学）・狩野徹（岩手県立大学）
 - 2) 支援者の立場から： 星節子（秋桜）・サポートセンター担当者（調整中）
3. 障がい当事者の立場から：（被災地障がい者支援センター石巻）
4. 討議・意見交換
5. まとめ： 石井敏（東北工業大学）



定 員 : 50名(申込先着順)

参加費 : 会員 2,500円 会員外 3,000円 学生 1,000円
(資料代含む、当日会場でお支払いください)

申込み方法： ●Web 申し込み <https://www.ajj.or.jp/index/?se=sho&id=680>
よりお申し込み下さい。

問 合 せ : 事務局研究事業 G 森田 TEL 03-3456-2051